



馬込から気持ちのよい風が吹いてくる



萬福寺だより

第31号

2018年冬号／no.31／平成30年12月1日発行

発行／曹洞宗 萬福寺護持会

HP <http://www.manpukuji.or.jp>

1日目
10.2 (火)
【虹の松原】幅約400m超の松林が唐津湾に面して4.7km続く。途中のお土産屋さん(名物「松露饅頭」を販売)で下車して松林を散策



【曳山展示場】唐津神社の例祭として知られる「唐津くんち」で引き回される曳山を一堂に展示。その豪華絢爛さに目を見張りました

萬福寺護持会 恒例の研修旅行 九州の旅

——住職の故郷へ参詣、佐賀・福岡を周遊

泊りがけは4年ぶりとなつた今年の研修旅行は、ご住職が幼少期を過ごされた佐賀県唐津市七山の医王院を参詣し博多に1泊、2日目は嬉野温泉に1泊して佐賀・福岡の名所を巡る旅となりました。

福岡空港到着からは真っ赤なJR九州バスに乗車し、ガイドさんの楽しい案内を聞きながら、九州の旅を満喫しました。最終日に少し小雨が降ったものの幸い天候にも恵まれ、10月2日、3日、4日（2泊3日）の研修旅行を終え、参加者37名は全員無事に帰京しました。



【医王院】観音の滝（写真・左）からさらに山奥の医王院を参詣。本殿前で記念撮影



ご住職のご両親、
高藏道宗老師と英
子さんにお出迎え
いただきました

ご家族そろってご参加ください

12.14(金) 11:00～本尊阿弥陀如来三尊仏の沐浴式・御開帳

12.31(月) 23:00～1.1(火) 歳末諷經 大般若会御祈祷諷經／除夜の鐘つき

1.2(水) -3(木) 11:00～正月大般若会御祈祷諷經

萬福寺護持会 恒例の研修旅行 九州の旅

研修を終えて

—皆様のご協力に感謝

慈眼山 萬福寺 住職
安本由道

【鹿島市干潟展望館前】有明海の干潟から戻ってきた漁師の方と遭遇。何が入っているか覗き込む皆さん



【祐徳稻荷神社】鹿島市にある日本三大稻荷の一つ。山の中腹にある本殿までお参りしました



【バスガイドの中村智和子さん】賑やかで楽しい案内をありがとうございました



昨年の晋山式の折、弟と共に参加された佐賀県唐津市・長得寺総代さんの「唐津へも来てください」の一言が、今回の旅行と相成りました。私の故郷を巡ることとなつた研修旅行を、檀信徒の皆様と実現させて頂きましたことは誠にありがとうございました、感謝の意に堪えません。私自身6年ぶりの帰郷でした。両親もまさか大勢のお檀家さんと一緒に帰つてくるとは思つてもいなかつたようです。私もこのような日が来るとは思いもよらず、家族で喜びを感じた瞬間でした。

行く先々で温かいおもてなしを頂きました。行程も大切ながら、気持ち良く楽しく、また親睦も深まり、他のコースでは味わえない研修旅行ができましたことは、皆様のご協力のお陰でもあります。今後も研修を計画してまいりますので、皆様のご感想とご意見を頂ければ幸いに存じます。玄関ホールにスナップ写真を納めたアルバムを置いてありますので、ご来山の際にご覧ください。

3日目
10.4 (水)

【太宰府天満宮】天神さまと関わりの深い御神牛がお出迎え(写真上)。過去・現在・未来を表すという太鼓橋、平橋、太鼓橋の三橋(写真は本殿に近い未来を示す太鼓橋)が掛かる心字池(写真下)

新任役員のご紹介
—萬福寺護持会

平林	赤塚	仁(あかつか)	千束地区
濱	岸田	静亮(きしだ しづあき)	大森地区
岸田	哲治(きしだ てつはる)		
基司(はま もとじ)			
明(ひらばやし あきら)			
修(ひらばやし おさむ)			
大森地区	直轄		

(五十音順・敬称略)



【昼食】佐賀・博多のソウルフード「牧のうどん」伊万里店で昼食。食べても増え続けるという謎の「ごぼう天うどん」などを賞味



【真っ赤なJR九州バス】JR九州の寝台列車「ななつ星」などを手掛けた水戸岡鋭治氏デザインのバス

開催行事報告

萬福寺ゆかりの《地域おこし》

するすみ祭を開催

平成30年10月8日（祝・月）



するすみ祭恒例の「ふれあい動物園」。興味津々の子供たち

午前10時、整備されてから4年目を迎える南馬込三丁目の磨墨塚で、大田区議会、町内会関係者ご出席のもと、ご供養が営まれました。ごあいさつの中で安本由道ご住職は「地域を愛し、名馬・磨墨の伝承を後世に残すことを願って130年前に碑を建立した人たちの思いを絶やすことなく守っていくことを誓います」と話されました。

同時刻から門前の駐車場では「ふれあい動物園」が開園し、集まつた子供たちがポニーの乗馬や、約80種の小動物との触れ合いを楽しみました。当日は松原大田区長も来場され、この日販売されたお餅や豚汁の収益金の一部は、大田区社会福祉協議会に寄付されました。



ふれあい動物園・ポニーの乗馬 多くの親子が楽しみました



戸澤宗充法尼による法話と琵琶の演奏



午後1時から日蓮宗の大森一いち 華庵主、戸澤宗充法尼による法話と琵琶の演奏が、午後2時からは孟蘭盆会の法要が営まれました。



大施餓鬼会法要

当山最大の行事、大施餓鬼会法要は午後2時から、いつもも増して莊厳にして盛大に執り行われました。

初めての仏様を迎えて 悲しみも新たに

新盆供養の参列者を前に、安本由道ご住職は、「仏様を心配させないようにするためには、皆様に一日も早くやすらかな日々が訪れないればなりません。そのためにも健康で幸せになつてください。供養しながら、一步一步前に進んでください」と話されました。

午後1時から山梨県甲府市・長泉寺住職、水庭浩章老師による法話が行われました。6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨など自然災害



が続く中、老師は「生きとし生けるもの皆平等に尊い。相手を思いやる心を持つ自分でできることを精一杯生きることができるれば、安心できる世の中になることでしょう」と話されました。

新盆供養・盂蘭盆会法要

平成30年7月13日(金)

あらゆる生命に感謝し 40余名の僧侶が読經

から山梨県甲府市・長泉寺住職、水庭浩章老師による法話が行われました。



大施餓鬼会法要

平成30年7月23日(月)

萬福寺の公式ホームページをご覧ください。

馬込萬福寺

検索

<http://www.manpukuji.or.jp>

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。

鬼子母神をお祀りし 子孫繁栄を祈願
にちれん
蓮聖人ゆかりの鬼子母神像(写真)の帰還
にご尽力いただいた静岡県・岸本勝吾様一行
をお迎えして、法要が執り行われました。



満杯の本堂に張扇の音が響き渡りました
秋彼岸会法要
平成30年9月23日(祝・日)

秋晴れの境内では僧侶の皆様による手作りの芋煮がふるまわれ、墓参に訪れる参詣者が秋の味覚を味わいました。法要の前に午後1時から、講談師・神田京子先生による講談が始まりました。大勢の方が詰めかけ、本堂は満杯。歌人・与謝野晶子の生涯などの講談を堪能しました。

INFORMATION

仏事のご案内 ご家族皆様で参加しましょう

12.14(金) 本尊阿弥陀如来三尊仏の沐浴式・御開帳

午前11時から法要。本尊阿弥陀如来三尊仏が御開帳されます。

12.31(月) -1.1(火) 歳末諷経 大般若会御祈祷諷経
じよ や
除夜の鐘つき

午後11時から法要。その後、除夜の鐘つきを行います。

1.2(水) -3(木) 正月大般若会御祈祷諷経

午前11時から法要。ご本尊が御開帳されます。

平成31年 年回表

一周忌	平成30年	二十三回忌	平成9年	四十七回忌	昭和48年
三回忌	平成29年	二十七回忌	平成5年	五十四回忌	昭和45年
七回忌	平成25年	三十三回忌	昭和62年	百回忌	大正9年
十三回忌	平成19年	三十七回忌	昭和58年		
十七回忌	平成15年	四十三回忌	昭和52年		



御葬儀・法要の連絡は 萬福寺本堂総受付まで

法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安樂であるようにと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定が立てられます。できれば半年前、少なくとも3ヶ月前には準備を始めましょう。

御葬儀・法要・諸行事のお問い合わせ・お申し込み

萬福寺本堂総受付 **03-3771-2025**

※梶原殿の会場使用につきましては、他社の葬儀社も利用できます。

やすらぎの写経会は新春2月11日(祝・月) 開催

会 場: 当山客殿 (大広間・椅子席)

時 間: 午後1時から2時半ごろまで

参 加 費: 1,000円 (用紙・筆無料貸し出し)

※懇親会のみ要事前予約

※「般若心経」を下敷きにして写経していただきます。

* * *

本年度第2回写経会が11月10日(土)に行われ、23名の方が参加されました(写真)。続いて第3回が年明け2月11日(祝・月)に開催されます。この日は、皆様がお書きになった写経を奉納する納経諷経も行われ、終了後には懇親会を開催いたします(自由参加)。寺務所にお申込みのうえ、ご来山ください。



編集後記

今年度の研修旅行は、昨年晋山式を終え萬福寺の住職に就任された由道和尚の故郷、佐賀県唐津市でした。個人ではなかなか行くことができない希少な旅行だったと思います。由道和尚の実家である医王院を参拝し、幼少時代の話を聞くことができ、ご家族と楽しい一時を過ごすことができました。有明海の干潟は広大で、エイリアンと呼ばれるワラスボには皆びっくりでした。また日本三大稻荷の一つ、祐徳稻荷、九州で参詣者が一番多い太宰府天満宮には、アジアからの観光客が驚くほど多く、国際化を改めて考えさせられました。楽しく、そして思い出の残る旅行でした。来年はさらに多くの檀信徒の皆様にご参加頂きたいと思います。

(萬福寺護持会会長 河原清彦)